

編集 後記

先月に発生した「熊本地震」では、未だ多くの被災者の方々が避難生活をされています。被災地の1日でも早い復興を祈念して、第63巻5号をお届けします。今月号に掲載されたのは、原著2編、研究ノート2編の計4編です。

原著は、行政保健師の離職意図と「仕事の要求」、「仕事の資源」との関連、高齢者の身体活動と近隣施設環境との関連について、それぞれまとめられたものです。

わが国では、転職行動は一般的ではありませんが、技術職のキャリア形成を考える上で、興味深い論文であるだけでなく、人事・労務管理に携わる管理職としても、示唆に富む内容となっています。

また、身体活動量と身近な生活関連施設の立地が関係することは、車社会である中山間地域の抱える問題を改めて明確にしたもので、重要な知見であると考えます。

いずれの論文も身近な題材について、独自性のある視点から分析されたもので、原著として非常に興味深いものとなっています。

病院勤務も2年目になりましたが、がん、糖尿病、認知症、嚥下食、看取り、地域連携バスなど保健所で取り組んでいた課題は、診療の場面でも避けて通ることができません。これら諸課題の解決に道筋をつけ、地域包括ケアを実現するためには、公衆衛生学的アプローチが必要不可欠であると感じます。

最後になりましたが、日本公衆衛生雑誌では、皆様方からの意欲あふれる投稿をお待ちしています。

(毛利好孝)

次号予告 (第63巻・第6号)

論壇

日本の公衆衛生大学院教育におけるアウトカム基盤教育とコンピテンシーの必要性

.....井上まり子, 他

資料

中学生が持つ高齢者の生活に関するイメージと高齢者を支援する社会資源への関心の実態：「健康長寿都市」を目指すS市を例として

.....小山晶子, 他

歯科疾患実態調査の協力率に関する検討：

平成23年歯科疾患実態調査の協力者は大半が国民健康・栄養調査における血液検査の協力者であった.....安藤雄一, 他

公衆衛生活動報告

保健所における保育園サーベイランスを活用した感染症集団発生の早期探知・介入の事例

.....松本加代, 他

第29回日本循環器病予防セミナー

循環器病予防のためのエビデンス構築

～分析計画作成のための実践講座 初・中級コース～

- 会 期：平成28年7月26日(火)～7月30日(土)
- 会 場：岩手県花巻温泉 (〒025-0304 岩手県花巻市湯本 1-125)
- 定 員：42名
- 参加資格：動脈硬化・循環器病予防に意欲のある医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士などの医療職、および関連領域の大学院生・研究生などの若手研究者を歓迎。学部学生は原則不可。
- 参加費：予防学会会員：50,000円/非会員：100,000円
※参加費には受講費・宿泊費・食費を含む。
- 募集締切：3月7日(月)～5月20日(金)
*受講者の決定は先着順ではなく、募集締切後に選考の上決定。(5月末頃予定)
- 申込方法：ホームページより申込書をダウンロードし必要事項を記入後、事務局まで送付。
<http://www.jacd.info/yobou-seminar/29seminar>
- 問合わせ：一般社団法人 日本循環器病予防学会
〒161-0034 東京都新宿区上落合 3-9-1 北村ビル402号室
電話：03-6304-0760 FAX：03-6304-0565 メール：office@jacd.info